



**HAGIWARA** TIMES 

帯広市新総合体育館整備運営事業 よつ葉アリーナ十勝特集

Vol.53  
2021.

**10**



●新総合体育館全景

# 帯広市新総合体育館整備運営事業(よつ葉アリーナ十勝)



- 工事名 : 帯広市新総合体育館整備運営事業(よつ葉アリーナ十勝)
- 進捗率 : 100%
- 発注者 : 帯広市
- 運営業者 : オカモト・帯広市文化スポーツ振興財団共同企業体
- 設計・監理 : 山下・岡田・創造共同企業体
- 規模 : RC造一部鉄骨造 地上3階建 延床面積:14,848.33㎡
- 施工場所 : 帯広市大通北1丁目1番地
- 事業者 : とかちウェルネスファーム株式会社
- 維持管理 : 東京ビジネスサービス・帯広市文化スポーツ振興財団共同企業体
- 施工業者 : 宮坂・萩原・川田・市川共同企業体
- 施工期間 : 平成29年11月27日～令和3年8月31日

# 建築

本工事はスポーツの多様化と運動拠点及び交流をより図る施設建設の為、PFI事業として工事が行われました。この歴史深いスポーツ拠点リニューアルという大事業に参画出来ることは技術者として大変栄誉な事であり、配属が決まった時は身が引き締まる思いでした。

私は建築に2年、解体に1年のトータル3年間配属していました。大規模な現場であり毎日100人以上の作業員、20社近くとの打合せを日々行ったりと大変忙しい現場でありました。しかし、一緒に完成まで協力して下さったJV・職人の方々、いつでも事務所の隣で暖かく接して下さったSPCの方々皆様のおかげで無事竣工することが出来ました。オープンしてからは普段運動活動を行っている方だけではなく、お年寄りやお子さんなどたくさんの方が来場しました。今はコロナの渦中にあり、ご利用がしづらい状況ではありますが、今後とも「よつ葉アリーナ十勝」をご利用いただき、再びスポーツ・交流の拠点としてより地域を活性化していく施設になると幸いです。

萩原建設工業株式会社 建築部 道見 孔貴



## 帯広市総合体育館の年表

1972 昭和47年	竣工 開館
1984 昭和59年	札幌交響楽団演奏会
1985 昭和60年	日本バレーボールリーグ大会 帯広の森体育館オープン
1986 昭和61年	ポリショイサーカス 日本バスケットボールリーグ大会
1987 昭和62年	帯広の森アイスアリーナ オープン
1988 昭和63年	全国高校総体の開会式 大相撲帯広場所
1989 平成元年	市民文化ホールオープン
1990 平成2年	日本体育大学研究発表会
1992 平成4年	'92 ブラザーカップ 新体操国際招待演技大会
1993 平成5年	平成5年度 実業団前期 日本卓球リーグ
1994 平成6年	第25回全国中学校卓球大会
1996 平成8年	帯広の森市民プールオープン 帯広市ヤングセンター閉館
2010 平成22年	第12回Wリーグ帯広大会
2016 平成28年	新総合体育館整備運営事業 募集要項公表(5月27日) B.LEAGUE 2016-2017 SEASON 帯広大会 とかちウェルネスファーム(株) 新総合体育館SPC設立(12月14日)
2017 平成29年	新総合体育館整備運営事業開始
2018 平成30年	新総合体育館既製コンクリート 杭打設開始(5月) 大相撲帯広場所
2020 令和2年	新総合体育館建物完成引渡し リニューアルオープン(2月)
2021 令和3年	旧総合体育館解体工事完了 外構工事完成引渡し(8月31日)

帯広市のスポーツ振興の拠点である帯広市総合体育館は47年間という長い役目を終えました。年表の内容以外にも様々なスポーツイベントが行われてきました。スポーツ関係だけではなくサーカスや有名なアーティストのコンサート、プロレスなど十勝の人々を楽しませてくれた場所でしたが老朽化で建物はかなり傷み新体育館建替えの運びとなりました。新しい総合体育館は帯広市初のPFI事業です。建築面積も4,387.87㎡から8,689.70㎡と約1.5倍に拡大され、今まで以上の大規模スポーツ大会やプロスポーツ・コンサートイベントも対応可能な施設になりました。スポーツだけではなく最大100名収容可能な研修室や最大24名収容可能な会議室もあります。運動はもちろんですがそれだけではなくいつでも気軽に集まれるコミュニティーの場が完成しました。



昭和47年外構工事前の様子 帯広百年記念館蔵



竣工後の内部 帯広百年記念館蔵



昭和57年総合体育館上空 写真提供:地勢社



第12回Wリーグ帯広大会 JALラビッツ最終戦



B.LEAGUE 2016-2017 帯広大会



平成30年 大相撲帯広場所



在りし日の旧総合体育館 写真提供:安斉 芳行



新総合体育館基礎工事中



最後の道新花火大会と旧総合体育館



エゾムラサキツツじとよつ葉アリーナ十勝



泣き顔みたいに見えた解体中の旧総合体育館



新総合体育館と解体中の旧総合体育館

# 喜多流帯広能が開催されました!!



令和3年8月21日(土)、能楽の喜多流による野外公演「喜多流 帯広能」が、帯広市内の緑ヶ丘公園・グリーンステージ特設能舞台にて開催され、約250名の観客が開放感のある会場で能の世界を楽しみました。

当社の専務取締役 萩原一宏が以前から親交のある能楽師 塩津圭介氏より、このたびの舞台製作のご相談をいただき、第2営業部技術営業課の仁藤を中心に、舞台ならびに会場設営を萩原建設工業が担当させていただきました。

「能」は、世界最古の舞台芸術であり、古来より舞台各所の寸法が厳格に決められており、今回製作にあたり能舞台の勉強から始め、塩津圭介氏と打合せを重ね準備を進めてまいりました。

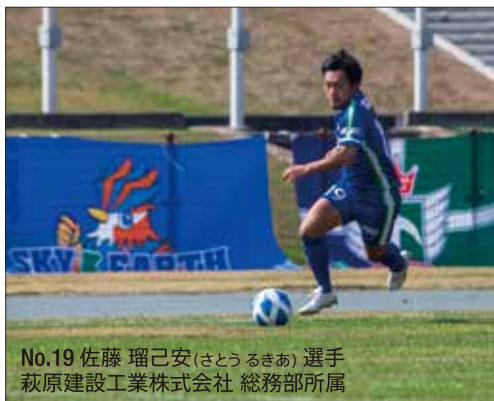
帯広市での能楽行事開催は今回が3回目であり、前回の「おびひろ新能(第2回)」(2013年)以来8年ぶりの開催となりました。演目は『翁』と『小鍛冶 白頭』。『翁』は、数ある演目の中でも最も神事に近く、「五穀豊穡、天下泰平」を祈願するという十勝にピッタリな演目で、塩津圭介氏の父 塩津哲生氏が演じました。『小鍛冶 白頭』は、夢のお告げを受けた天皇の勅命を受け、とぎの名工三條小鍛冶宗近が、稲荷明神の化身と名刀を打ち上げるといふ演目で、前シテ後シテを塩津圭介氏が演じました。神事の色濃い演目のため、会場を囲う紐に紙垂をつけ注連縄に見たてた装飾を施しました。

今回、運営をご担当された株式会社トリデンテ様をはじめ、音響や舞台装飾をご担当されたケイズサウンド株式会社様ほか関係者の皆様におかれましては、舞台製作にあたりご尽力賜り誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

## 📷 今月の表紙

撮影：萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月の表紙は昭和58年4月に中西一雄氏がNTTドコモ所有の無線塔プラットホームの最上部から撮影した音更町木野市街と帯広市中心部の写真です。現在の木野裏通りには土幌線が通り国鉄木野駅があります。十勝大橋は今より東にかかっており奥に総合体育館が見えます。街並みは時代により変化して行きますが懐かしい写真は心を過去に戻してくれます。今の街並みも間違いなく先人たちの営みや努力の結晶です。私たち萩原建設工業も綺麗に住みよい十勝を作っていくしたいと思います。



No.19 佐藤 瑠己安(さとうるきあ) 選手  
萩原建設工業株式会社 総務部所属



# HOKKAIDO TOKACHI SKY EARTH

## 十勝からJリーグへ!!

公式 HP



北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社

〒080-0332 北海道河東郡音更町雄飛が丘仲区 1 番地 19

TEL:0155-66-7361 / Mail:contact@hokkaido-tokachi-skyearth.jp

